

大分大学 全学研究推進機構 先端医工学研究センター 一三三 恵美 教授

1 紹介

企業研究者、公立大学教員を経て、現在は大学全学研究推進機構教授。その間、さきがけ研究へも採択されており、多様なキャリア形成の可能性を示すうえでも、貴重なロールモデルとなる女性科学者であり、今後ますますの活躍が期待されている。

2 略歴・研究歴

1986年 旧医療技術短期大学部衛生技術学科（現 山口大学医学部保健学科）卒業

1986年 宇部興産株式会社 中央研究所医薬研究部 入社

1999年 タンパク質を分解する能力を有する抗体酵素を世界に先駆けて見出す

2003年 宇部興産株式会社 中央研究所医薬研究部 退職

2005年 県立広島大学 生命環境学部生命科学科 助教授

2007年 国立大学大分大学先端医工学研究センター 教授

3 研究分野

抗体・酵素、ウイルス、バイオテクノロジー遺伝子組換え、抗体工学、医薬・診断薬

4 受賞歴

・2014年6月 第34回猿橋賞

・2014年8月 県賞詞

猿橋賞

一般財団法人「女性科学者に明るい未来をの会」から自然科学の分野で顕著な研究業績を収めた女性科学者に贈られるもの

第34回（2014）一二三恵美 大分大学全学研究推進機構教授

「機能性タンパク質『スーパー抗体酵素』に関する研究」

タンパク質（ペプチド分子）を分解する能力を有する抗体酵素を世界に先駆けて見出し、「スーパー抗体酵素」と名付けて独創性の高い研究を展開。基礎研究だけでなく実用化をも視野に入れた、独創的研究として高く評価

参考：最近の受賞者一覧

第35回（2015）鳥居啓子 名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所主任
「植物の細胞間コミュニケーションと気孔の発生メカニズムの研究」

第36回（2016）佐藤たまき 東京学芸大学教育学部自然科学系広域自然科学講座准教授
「記載と系統・分類学を中心とする中生代爬虫類の研究」

第37回（2017）石原安野 千葉大学グローバル・プロミネント研究基幹 准教授
「アイスキューブ実験による超高エネルギー宇宙線起源の研究」

第38回（2018）寺川寿子 名古屋大学大学院環境学研究科附属地震火山研究センター講師
「地震活動を支配する地殻応力と間隙流体圧に関する研究」

県賞詞

知事通信「一二三恵美大分大学教授の第34回猿橋賞受賞報告及び県賞詞授与式」

平成26年8月7日

（大分県ホームページより）

自然科学の分野で、顕著な研究業績を収めた女性科学者に贈られる賞「猿橋賞」を受賞した大分大学の一二三恵美教授に県賞詞が授与されました。授与式に先立って行われた猿橋賞受賞報告会では、一二三教授から受賞テーマである「スーパー抗体酵素」の通常の抗体との違いや、インフルエンザ、がんの治療薬への応用の可能性について知事に説明がなされました。

授与式では、知事が「大分県の女性研究者の方が、このようなすばらしい研究成果を挙げていただき誇らしく思います。今後さらに成果を重ねていかれることを期待しています」とあいさつすると、一二三教授は「この成果は学生の支援、研究に専念できる環境があったからこそそのものです。今後も猿橋賞、県賞詞に恥じないよう研究に励みたいと思います」と答えました。

